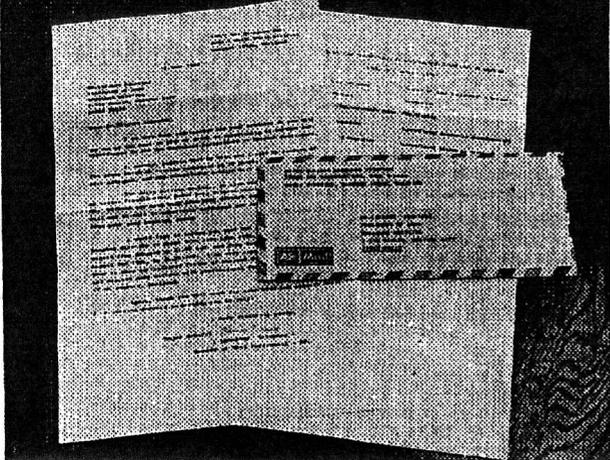


タイの民主化運動の指導者

チャムロン氏が来月来岡

高松農協などで農業研修

五月にタイで起きた国軍と反政府勢力との流血事件で、民主化運動の指導者だった前バンコク知事のチャムロン氏を団長とするタイの農業関係者らの研修団が七月下旬、岡山市を訪れ、農業研修などを行うことが二十日まで決まった。岡山市に本部を置く民間の国際協力団体・アジア医師連絡協議会（AMDA）と、岡山県、岡山市高松農協などが協力して受け入れる。



タイの民主化運動指導者チャムロン氏からAMDAに届いた手紙

の農業を見学し、農業経営などについて意見交換したい」と希望。七月二十日から八月二日までの約二週



チャムロン氏

間、AMDAのメンバー宅などにホームステイ、高松農協で有機農法を学んだり、岡山県下各地で農業視察する予定。岡山訪問は昨夏、同市内のポランティアグループが、福祉見学のためタイを訪ねてチャムロン氏と会い、農業改革に関心のある同氏に岡山の農業を紹介したのがきっかけ。その後、チャムロン氏から研修団受入れの要請があり、タイとの医療交流を深めているAMDAが橋渡し。岡山県

が旅費の一部を援助、高松農協が農業指導を引き受けることで、官民一体の研修団受け入れ準備が進められた。タイでは、農業を買うために借金が増え、破産する農業者が多く、一部は都市のスラムに流入。国民の生活水準を高めるため、農村経済の立て直しが急がれている。

チャムロン氏は陸軍士官学校を卒業後、米国に留学。プレム元首相の秘書官を務めたあと、バンコク知事選に出馬し当選。今年五月にはハンストなどでスチンタ政権を崩壊に追い込んだ。高松農協の藤井虎雄組合長は「言葉や生活習慣の面で不安はあるが、岡山の有機農法がタイの農業発展につながればうれしい」と話している。